

山田小学校「前期 学校評価」の報告

学校だより5月号でお伝えしたように、山田小学校は、「山田小学校 教育ビジョン」に基づいて、教育活動を行っています。「山田小学校 教育ビジョン」は、ホームページに掲載してありますので、ご覧ください。今回は、この「山田小学校 教育ビジョン」が、前期に、どれだけ達成されたのかを報告いたします。

質問に対して、四つの選択肢「あてはまる」「やや あてはまる」「あまり あてはまらない」「あてはまらない」のうち、「あてはまる」又は「やや あてはまる」を選んだ児童の割合

学力向上	「反応しながら聞く」 授業で、相手を見てうなずいたりあいづちをうったりしながら、話を聞いています。	肯定的評価 90% (目標: 80%以上)	評価 A
	「伝わるように話す」について 授業で、自分の考えを相手に伝わるように話しています。	肯定的評価 86% (目標: 80%以上)	評価 A
	国語テスト・算数テストを合わせた全校の平均点	88点 (目標: 80点以上)	評価 A
心の教育	「温かい言葉(あいさつ・さん付け)」について 温かい言葉をつかおうとしています。(あいさつ・さん付け)	肯定的評価 88% (目標: 80%以上)	評価 A
	「友達と協力して活動する」について 学校生活で、友達と力を合わせて学習したり、活動したりしています。	肯定的評価 95% (目標: 80%以上)	評価 A
体力向上	「運動に意欲的に取り組む」について 進んで体を動かして遊んだり、運動・スポーツをしたりしています。	肯定的評価 87% (目標: 80%以上)	評価 A
	「11の基本動作の習得」について	現在、取組中 (目標: 11種目中9種目以上でB評価の児童を70%以上)	

「学力向上」の取組



iPadを使っでの話し合い



付せん紙を使って考えを整理

学級担任同士で、互いに授業を参観し合い、効果的な指導方法について研修をしています。

子どもたちが、iPadや付せん紙、ホワイトボード等を使って、課題について意欲的に話し合い、考えを深めていく、そんな活気のある授業を目指しています。

なお、iPadの活用に力を入れています。iPadの活用は、あくまでも効果的に学習を行うための「手段」であり、学習の「目的」ではありません。また、実物を自分の目で見る、手で触る、においをかぐ等の実体験は、これまでと同様に大切にしています。

「心の教育」の取組



教室に掲示してある学級力アンケートの結果



にじいろ班遊び

学級力アンケートを実施して、その結果から学級の課題を見付け、自分たちで解決していく取組を行っています。例えば「自分たちの学級は、友達には優しくできているけれど、時間を守るのができていない。今度から、お互いに声を掛け合っていこう。」というようにです。

にじいろ班での清掃や遊び、遠足を通して、上の学年と下の学年のかかわりも大事にしています。

「体力向上」の取組

山田小学校では、身に付けさせたい基本の動きを「11の基本動作」として設定し、体育科の年間授業計画に位置付け、計画的に取り組ませています。

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| ①腕支持（よじ登り倒立） | ②逆さ（鉄棒のこうもり、ふとん干し） |
| ③回転（鉄棒の連続前回り下） | ④バランス（目を閉じて片足バランス立ち） |
| ⑤体幹の締め（鉄棒のだんご虫（あごが鉄棒より上）） | ⑥柔軟性（ブリッジ歩き、ブリッジ） |
| ⑦走る（50m走） | ⑧跳ぶ（立ち幅跳び） |
| ⑨投げる・捕る（ドッジボールを壁に投げる→捕る→投げる） | ⑩蹴る（サッカーのドリブル） |
| ⑪用具操作（短縄30秒間速回し跳び） | |

それぞれの基本動作には基準があります。例えば、③の回転は、1～3年生であれば8秒で3回以上がA、8秒で2回以上がB、それ以下はCです。



体育委員会による「11の基本動作」測定週間



生活習慣にかかわる授業

元気アップ週間には、担任と養護教諭で連携し、朝食や睡眠、メディアの適切な利用等、生活習慣についての授業を行っています。